

# 主日礼拝

2021 年 10 月 31 日  
午前 10 時 30 分

前奏 「神は堅き砦」 (即興)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。  
喜び祝い、主に仕え  
喜び歌って御前に進み出よ。」 (詩編 100:1,2)

## リタニー「紅葉の季節に」

司式者：神さま、紅葉の季節がやってきました。  
毎日それぞれの場所での出会いはあなたの  
導きです。

会衆：すべての出会いに感謝します。

司式者：私たちが、あなたの愛と恵みに出会うことが  
できますように。

会衆：あなたの愛と恵みを注いでください。

司式者：そばにいる人へ、イエスさまの喜びを運べる  
ように、私たちを強めてください。

会衆：イエスさまの喜びを感じさせてください。

司式者：木の葉が色づくように私たちの心をあなたの  
喜びで染めてください。

一同：全てのことばに感謝します。アーメン

## 祈禱

献金 献金箱が受付に置いてありますので、礼拝前にお届けください。

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあげさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。  
主はわたしを青草の原に休ませ  
憩いの水のほとりに伴い  
魂を生き返らせてくださる。

主は御名にふさわしく  
わたしを正しい道に導かれる。  
死の陰の谷を行くときも  
わたしは災いを恐れない。  
あなたがわたしと共にいてくださる。  
あなたの鞭、あなたの杖  
それがわたしを力づける。

わたしを苦しめる者を前にしても  
あなたはわたしに食卓を整えてくださる。  
わたしの頭に香油を注ぎ  
わたしの杯を溢れさせてくださる。

命のある限り  
恵みと慈しみはいつもわたしを追う。  
主の家にわたしは帰り  
生涯、そこにとどまるであろう。

## 賛美 18 「心を高くあげよ！」

"Lift up your hearts!" we lift them, Lord, to Thee  
詞: Henry M. Butler, 1833-1918

SURSUM CORDA  
曲: Alfred M. Smith, 1879-1971

1 「こころをたかくあげよ!」主のみこえにしたがい、た  
2 きりのようになうれいも、やみのようなおそれ、み  
3 主からうけ たすべてを、ふたたび主にささげて、き  
4 おわりの日 がきたなら、さばきのぞをみあげて、わ

だ主のみをみあげて、こころをたかくあげよう。  
なうしろになげすて、こころをたかくあげよう。  
よきみ名をほめつつ、こころをたかくあげよう。  
がちからのかぎり、こころをたかくあげよう。

- |  |  |
|--|--|
| 1 「こころを高くあげよ！」<br>主のみ声にしたがい、<br>ただ主のみを見あげて、<br>こころを高くあげよう。 | 3 主から受けたすべてを、<br>ふたたび主にささげて、<br>きよきみ名をほめつつ、<br>こころを高くあげよう。 |
| 2 霧のようになうれいも、<br>やみのような恐れも、<br>みなうしろに投げすて、<br>こころを高くあげよう。  | 4 おわりの日 がきたなら、<br>さばきの座を見あげて、<br>わがちからのかぎり、<br>こころを高くあげよう。 |

# 説教 「主は我が牧者」

## 賛美 532 「やすかれ、わがころよ」

Sätle, mein Wille  
詞: Katharina von Schlegel, 1697-?

曲: Jean Sibelius, 1865-1957  
FINLANDIA

1 やすかれ、わがころよ、  
2 やすかれ、わがころよ、  
3 やすかれ、わがころよ、

主 イエ ス は と も に い ま す。  
な み か ぜ た も に と い ま す。  
つ き ひ の た う つ ろ い な き

い た み も く る し み を も  
お そ れ も か な し み を も  
み く に は や な が て き た ら ん

し ず か に し の び た え よ。  
み む ね に し す の べ て に ゆ だ ねん。  
う れ い は 永 久 に 消 え て、  
か が や く み 顔 あ お ぐ

主 イエ ス の と も に ま せ ば  
み 手 も て み ち び き た も う  
か が や く み 顔 あ お ぐ

た え え ぬ な や み は な し。  
の ぞ み の ち の さ ち を ぞ う け ん。

- 1 やすかれ、わがころよ、  
主イエスはともにいます。  
いたみも苦しきも  
しずかに忍び耐えよ。  
主イエスのともにませば、  
耐ええぬ悩みはなし。
- 2 やすかれ、わがころよ、  
なみかぜ猛るときも、  
恐れも悲しみをも  
みむねにすべて委ねん。  
み手もてみちびきたもう  
のぞみの岸はちかし。
- 3 やすかれ、わがころよ、  
月日のうつろいなき  
み国はやがてきたらん、  
うれいは永久に消えて、  
かがやくみ顔あおぐ  
いのちのさちをぞ受けん。

## 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン

アーメン アーメンアーメン

## 後奏 「神は堅き砦」 (即興)

司式 向井 希夫 牧師  
説教 稲垣 馨 牧師  
奏楽 佐々木 悠

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。  
※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。